

○事業所名	でいさーびす あいりんご8		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節ごとに特色のあるイベントを実施しているほか、法人内の事業所と合同でイベントを開催するなど、事業所全体で取り組む大規模な活動を行っています。 これにより、利用者様に日常とは異なる特別な体験や、多様な活動の機会を提供することができています。	毎月、定期的に会議を開催し、活動内容の振り返りや見直しを行いながら、より充実した活動の提供に努めています。 また、利用者様にとって分かりやすく安心して参加できる活動となるよう配慮しながら、新しい経験や生活への自信につながる活動の提供を心がけています。	活動内容の充実に伴い、職員一人ひとりの支援力や専門性の向上を図りながら、事業所としてより質の高い活動を提供できるよう取り組んでいきます。
2	当事業所では、利用者様および保護者様のニーズを大切に、一人ひとりに合わせた柔軟な支援を行っています。 活動内容やスケジュールを一律に決めるのではなく、その日の体調や気持ち、状況に配慮しながら、安心して過ごせる環境づくりと適切な支援の提供に努めています。	利用者様一人ひとりの気持ちや体調を把握するため、日々の声かけや関わりを大切に、児童とのコミュニケーションを積極的に行っています。また、活動時には職員間で情報共有を行い、当日の体調や気分、学校での様子なども踏まえながら、支援内容や過ごし方を柔軟に調整しています。利用者様が安心して過ごせるよう、環境面にも配慮しながら支援を行っています。	今後も利用者様一人ひとりの特性やその日の状況に応じた支援が行えるよう、職員間での情報共有や支援内容の振り返りを継続してまいります。 また、保護者様との連携を大切に、ご家庭や学校での様子も踏まえながら、より適切な支援の提供と環境づくりに努めてまいります。
3	様々な家庭環境に配慮しながら、保護者様や利用者様の意見を大切に受け止め、支援に反映できるよう努めています。 また、通所支援にとどまらず、状況やニーズに応じて必要な支援や関係機関につなぐことができる体制づくりを行っています。	日々の支援の中で、利用者様や保護者様とのコミュニケーションを大切に、意見や要望の把握に努めています。 また、職員間での情報共有を行い、家庭環境や利用者様の状況に応じた支援が行えるよう取り組んでいます。 必要に応じて関係機関とも連携しながら、適切な支援やサービスの提供につなげています。	今後も利用者様や保護者様のニーズをより的確に把握できるよう、職員間での情報共有や支援内容の振り返りを継続してまいります。 また、関係機関との連携をさらに深めながら、利用者様やご家庭の状況に応じた支援体制の充実を図ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの知識や経験の違いにより、支援内容や利用者様への関わり方に差が生じてしまう場合があると考えています。	職員ごとにこれまでの経験や知識量が異なることから、利用者様への支援方法や対応の仕方に個人差が生じることが課題の一つであると考えています。 また、支援方法や関わり方について十分な共有が行われない場合、支援の統一が難しくなることも要因の一つであると認識しています。	職員間での情報共有や支援内容の振り返りを行い、利用者様への関わり方や支援方法について共通理解を深めてまいります。 また、研修や事例検討の機会を設けることで職員全体の知識や支援力の向上を図り、支援の質の均一化につなげてまいります。
2	近隣の児童館や児童クラブなど、地域の方々との交流の機会を十分に設けることができていない点が課題の一つであると考えています。	日々の支援活動を優先する中で、地域の児童館や児童クラブなどと交流する機会を計画的に設けることが難しく、地域との関係づくりが十分に進められていないことが要因の一つであると考えています。 また、地域との連携や交流の方法について検討する機会が少ないことも課題であると認識しています。	今後は、近隣の児童館や児童クラブなど地域の関係機関とのつながりを意識し、交流の機会を少しずつ増やしていくことを検討してまいります。 行事や活動を通じた交流の場や情報交換の機会を設けることで、地域との連携を深め、利用者様の社会経験の幅を広げられるよう取り組んでまいります。
3	父母会や保護者会など、保護者様同士が家庭での悩みや日頃の様子について情報共有できる機会を十分に設けることができていない点が課題の一つであると考えています。	日々の支援や送迎対応を優先する中で、保護者様同士が交流できる場を計画的に設けることが難しく、情報共有や意見交換の機会が限られていることが要因の一つであると考えています。 また、保護者様が参加しやすい形での交流の場づくりについて十分に検討できていない点も課題であると認識しています。	今後は、保護者様同士が気軽に情報交換や交流ができる機会を設けることについて検討してまいります。 父母会や交流会などの実施方法を工夫しながら、家庭での様子や悩みを共有できる場づくりを進め、保護者支援の充実につなげていきたいと考えています。

事業所名	ていさーびす あいりんご8
------	---------------

公表日 R8年3月30日

利用児童数 29

回収数 20

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85%	0%	0%	15%	敷地も広く、子どもたちが楽しく過ごせそうだと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	75%	5%	0%	20%	職員配置については、適切に対応されていると思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	65%	0%	0%	35%	バリアフリー化や大きなホワイトボードの活用など、視覚的にも分かりやすい環境づくりがされていると感じます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	子どもたちと一緒に掃除をするなど、環境がきれいに保たれていると思います。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	75%	20%	0%	5%	子どもの特性に合わせた支援が行われていると感じます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	80%	0%	0%	20%	事業所の支援内容と活動内容は合っていると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	子どもや保護者の状況を踏まえた計画を作成していただいていると思います。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	ガイドラインに基づき、必要な支援内容が設定されていると思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90%	0%	0%	10%	個別支援計画に沿った支援が行われていると思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%	5%	0%	10%	いろいろな活動内容を提示していただき、工夫されていると感じます。	毎月ミーティングを行い季節にあった活動や利用者様の要望を取り入れられるような形で制作している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	30%	20%	20%	30%	よくわからない。	交流の機会が今は無いので今後増やしていきたい。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	85%	15%	0%	0%	丁寧に説明してもらえたと思います。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	支援内容について説明してもらえたと思います。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45%	10%	10%	35%	相談には乗ってもらっていますが、参加できる機会はあまりないと感じます。	家族が参加できるイベントなど今後検討していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	60%	30%	10%	0%	夕方の送迎時に、その日の様子や出来事を教えてもらっています。	普段から活動内容などわかりやすく伝達していく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40%	30%	20%	10%	相談には乗ってもらえていると思います。	今後も夕方の送迎時やモニタリング時などいろいろな場面で支援を行っていきたい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	80%	20%	0%	0%	職員の方には共感的に支援してもらえていると感じます。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40%	10%	30%	20%	わからない。 案内されたことはない。	保護者会等が無いので今後開催していきたい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	70%	10%	10%	10%	不安なことなど聞いてもらうことも多い。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	分からない事を教えてもらう事が多く助かっている。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	70%	15%	0%	15%	インスタをよく見ている。	今後もブログやインスタなどで色んな様子を発信していきたい。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%	5%	0%	0%	適切に管理されていると思います。		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	60%	5%	15%	20%	避難訓練をされている。	マニュアルはあるため、しっかりと保護者様にお伝えしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%	10%	0%	40%	避難訓練をされている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50%	10%	0%	40%	安全面にも配慮して対応していただいていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%	10%	0%	0%	小さなことでもすぐに連絡してもらっている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	5%	0%	0%	安心して通所できていると思います。	今後も利用者様が安心して過ごせる場所が提供できるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%	10%	0%	0%	通所を楽しみにしていると思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	85%	5%	0%	10%	全体的に満足しています。	

事業所名		ていさびす あいりんご8		公表日		R8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用定員に対して十分な活動スペースを確保し、子ども一人一人が安心して過ごせる環境作りを行っている。	特になし。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	国の基準を満たした配置を行い、児童数に応じて柔軟に職員を配置している。	特になし。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	100%	0%	1日の流れを視覚化し、写真や絵カードを用いて活動を明確にしている。聴覚過敏や視覚過敏等、障害の特性に配慮した環境作りを行っている。	特になし。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	換気、消毒を定期的実施し、清潔な環境を維持している。整理整頓を心がけている。	特になし。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンスペースや個別対応スペースを確保し、発達特性に応じた環境設定を行っている。	特になし。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	月1回のケース検討会を実施し、PDCAサイクルを意識した支援を行っている。記録共有やミーティングで意見交換をしている。	特になし。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	定期的に保護者アンケートを実施し、いただいた意見を職員間で共有し、改善につなげている。	特になし。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員会議や日々のミーティングを通して意見を把握し、業務手順や支援方法の改善につなげている。	特になし。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	今後実施していきたいと思っている。	今後行う必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	年間計画に基づき研修機会を確保し、受講後は内容を共有することで職員の資質向上に努めている。	特になし。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	事業所の方針に基づいた支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。	特になし。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	面談や発達検査結果をもとに多角的にアセスメントを行うこと、ニーズを明確化し計画書に反映している。	特になし。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	ケース会議を実施し、多職種で意見交換を行い、子供の最善の利益を第一に考えた支援内容を検討している。	特になし。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別支援計画書を全職員が確認できる仕組みを整えている。また申し送りや日々のMTで支援目標を共有している。	特になし。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	アセスメントシートやチェックリストを活用して客観的に状況を把握している。	特になし。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインの4つの視点を意識しながら本人と家族の意向も考慮しながら具体的な支援内容を設定している。	特になし。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	多様な体験の視点を取り入れたプログラム作成を行っている。	特になし。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	季節の行事や新しい活動を取り込み入れた定期的に活動の内容を見直している。	特になし。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	個々の特性に応じて個別支援と集団支援を組み合わせている。	特になし。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	支援開始前に、支援目標や支援内容を確認し、統一した支援を実施している。	特になし。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	支援終了後に振り返りを行い、気づきを共有し、課題や改善点を次回支援へ反映している。	特になし。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々、支援記録を作成し、支援内容の把握に努めている。	特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、目標達成状況を確認しながら必要に応じて計画内容を見直している。	特になし。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	80%	20%	自立支援、創作活動、地域交流、余暇活動などをバランスよく組み合わせて取り組んでいる。	特になし。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	活動が選択の場面を設け、自己選択を促し、成功体験を積み重ねられるよう支援している。	特になし。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	事前に支援状況や様子の整理をし、具体的な情報提供を行っている	特になし。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	必要に応じて医療機関や関係機関と情報共有を行い、連携体制を整えている。	特になし。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校と行事予定を共有し送迎時等で申し送り内容の確認を行っている。トラブル発生時は速やかに学校と連絡をとりあい連携している。	特になし。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	保育所や他事業所と情報共有を行い子どもの理解を深めている。保護者の同意のもと、引継ぎや資料の提供を実施している	特になし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	卒業や進路変更時には支援内容や特性等の情報提供を行っている。また保護者や相談支援専門員と連携し、円滑な移行に今後実施していきたいと思っ	特になし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	20%	80%	今後実施していきたいと思っ	今後実施していきたいと思っ
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	今後実施していきたいと思っ	機会が少ないため今後増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	20%	80%	今後参加していきたいと思っ	今後参加していきたいと思っ
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	運営方針やコンプライアンスの確認説明会を通して日々の様子を具体的に共有している。子どもの発達状況や課題について面談を通して共通理解を図っている。	特になし。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	今後、実施していきたいと思っ	今後、実施していきたいと思っ
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%	契約時に運営規程、支援プログラム、重要事項説明書を用いて説明し、書面で同意を得ている。	特になし。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	本人や家族の意見を確認し目標設定に反映すると共に、本人の最善の利益となるよう多角的な視点から計画を作成している。	特になし。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援目標、支援内容、評価方法など具体的に説明し理解を得た上で同意を得ている。	特になし。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	すぐに相談を受けつけ、面談や電話等柔軟に対応している。	特になし。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	今後、機会を設けていきたい	保護者会などの機会を今後作ってきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付体制を整備し、苦情発生時は迅速に事実確認、記録を行い、再発防止策を検討し共有している。	特になし。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	れんらくちょう、ブログ・インスタグラム等で発信している。	特になし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	留意している。	特になし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚支援、絵カード、スケジュールなどを活用し、伝達方法を配慮している	特になし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%	今後、事業運営を図ってきたい。	特になし。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	避難訓練、防災訓練、感染症対策訓練を年間計画に基づき実施している。	特になし。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し、周知の上で想定した訓練を実施している。また役割分担を明確にしている。	特になし。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	服薬管理をしている。てんかん発作時の対応を共有し、研修等も行っている。	特になし。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40%	60%	今後、実施していきたいと思う。	今後、実施していきたいと思う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	できている。	特になし。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20%	80%	今後実施していきたい	今後実施していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	報告書を作成し、事例ごとに原因分析を行い再発防止策を検討している。	特になし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を定期的実施している。職員が相談しやすい体制を整備した上で、早期発見・対応に努めている。	特になし。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	80%	20%	組織で検討し、保護者への説明の上同意を得ている。また計画書へ反映し、定期的に必要な性を見直している。	特になし。